

「第17回 親林の集い」を開催

(独)森林総合研究所は、平成24年10月28日(日)に茨城県日立市で「第17回親林の集い(主催:当研究所林木育種センター)」を開催しました。

森林農地整備センターでは、来場された皆様に森林の役割や機能に対する理解を深め、森林に親しみを持っていただくために、当研究所内ブースにて木のえんぴつ作りや木への漢字あてクイズを行いました。また、当センターが行っている水源林造成事業の仕組をはじめ、東日本大震災復興支援活動や農用地総合整備事業地にて発見された約200万年前と推定される「大規模海底地滑り地層」のパネルを展示し、事業の説明を行ないました。

当日は、気温も低くお昼からは雨が降る天候となりましたが、多くの皆様が当センターのブースを訪れていただきました。特に、木のえんぴつ作りは盛況で、準備していた材料の木200本(えんぴつ用の長さに切った枝)が、予定より早くなくなってしまうほどでした。子供達は材料の木を少しずつ削りながら、思い思いに自分だけのえんぴつを作り、お孫さんをお連れの方々は、作り方を教えながら一緒に楽しむなど、ほほえましい光景も見られました。

今後ともこのようなイベントでの活動を通じて、市民の皆様に水源林の果たす役割に理解を深めていただき、また森林に対して親しみを持っていただけるよう努めてまいります。

【開催概要】

1. 日時:平成24年10月28日(日)9時30分~15時
2. 場所:(独)森林総合研究所林木育種センター
(茨城県日立市十王町伊師3809-1)
3. 主催:(独)森林総合研究所林木育種センター
後援:NHK水戸放送局、林野庁茨城森林管理署、茨城新聞社
茨城大学宇宙科学教育研究センター

＜森林農地整備センターのコーナー＞

